

第6学年 道徳学習指導略案 参考例

1. 主題名 目標に向かって 1－(2) 希望、勇気、不撓不屈 関連 4－(7)
2. 資料名 「島村盛助－日本語と英語をつなぐ だれよりも言葉を大切にした英語学者－」
宮代町教育委員会発行副読本を参考にした自作資料
3. 主題設定の理由 <省略>
(1) ねらいとする道徳的価値について (2) 児童の実態について (3) 資料について
4. 研究主題とのかかわりと他の教育活動との関連<省略>
5. 本時の学習活動
(1) ねらい
自分の目標に向かって強い意志をもって取り組んでいった「島村盛助」の生き方を知ることで、自分自身も夢や目標を実現するために努力を惜しまずよりよく生きていこうとする態度を養う。

(2) 展開

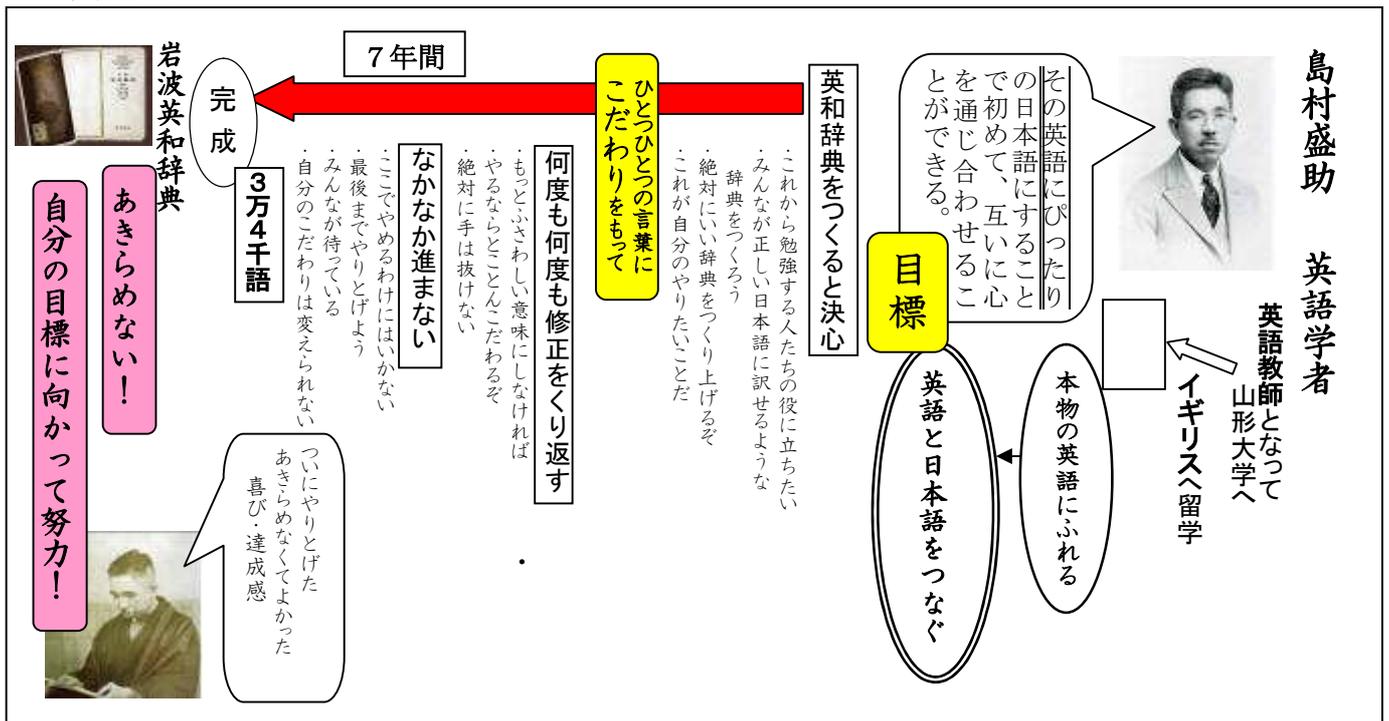
段階	学習活動 ◎主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆◇評価【評価方法】	時間 資料
導入	1 児童にとっての「あこがれの人」から興味をもたせ、宮代町の偉人「島村盛助」へと関心をつなげる。 ・島村盛助はどんなことをした人でしたか。	・英語辞典を作った人。 ・英語の本を訳した人。	・「あこがれの人」の生き方から学ぶことがあることを知り、盛助の生き方や考え方から学んでいこうという意欲をもたせる。 ・英語発表会のことを想起させ、事前に知っている盛助の功績などを挙げる。	3 盛助の 写真 辞典の 写真
展開	2 資料の条件・状況を知り、話を聞く。 3 心に残ったことを発表する。	登場人物：島村盛助（主人公） 条件・状況 明治17年、百間村の村長を務めるような立派な家に生まれた盛助は、小さな頃から俳句を好み勉学に励む少年だった。小学校卒業後、浦和の中学へ進み、東京大学に入学する。そして英文学と出会い研究していく。 ・中学、高校や帝国大学に入れるように勉強したこと。 ・イギリスで決心したところ。 ・もとの原稿が真っ赤に染まるほど修正を繰り返したこと。 ・7年もかけて辞典をつくったこと。 ・芸員さんの最後の言葉	・文章で書かれた資料ではなく、教師が語ることで資料渡しをするので、写真や挿絵などを提示しながら心に響くようにする。 ・盛助が生まれた時代背景について押さえ、「英語」を学ぶということが今とは異なることをとらえさせる。 ◇児童が話の内容や状況をおさえられるような資料渡しの工夫ができたか。 ☆心に残ったところを見つけ、話し合おうとする意欲が持てたか。	12 生家 俳句 帝国大学 山形大学 写真 夏目漱石 雑誌 写真 真っ赤に染まった原稿

<p>深める</p>	<p>4 英和辞典をつくった盛助の思いについて話し合う。</p> <p>○盛助はどんな思いをもって辞典をつくり始めたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これこそが自分のやりたいことだ。 ・絶対にいい辞典を作ってみせる。 ・みんなが英語を正しい日本語に訳せるようにしたい。 ・これから英語を勉強する人たちの役に立ちたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスに渡った盛助の中に生まれた思いをふり返りながら、辞典編纂への強い意志と意欲に燃えていた盛助の思いに共感させる。 	<p>22</p>
<p>深める</p>	<p>○ひとつひとつの言葉にこだわって辞典をつくっているときの盛助はどんな思いだったのでしょうか。</p> <p>※原稿が真っ赤に染まるまで何度も何度も修正を繰り返したのはどうしてでしょう。</p> <p>※なぜそこまでひとつひとつの言葉にこだわったのでしょうか。</p> <p>※7年という長い間、盛助の思いを支えたものは何だったのでしょうか。</p> <p>○7年かけて完成させたとき盛助はどんな思いだったでしょう。</p> <p>※最後の単語を訳し終えた時、あるいは出来上がった辞典を手にとった時の盛助の気持ちを言葉にしてみてください。</p> <p>5 学芸員さんの思いや岩波英和辞典を今も大切に使っている人々がいることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目指す辞典にしなければ…。 ・よりふさわしい日本語を見つけたい。 ・ぴったりとくる日本語が見つからなければ本当にわかり合うことはできないんだ。 ・手を抜くものか！ ・なかなか難しいな。 ・思った以上に時間がかかるな。 ・ここでやめたら今までの苦労が水の泡だ。 ・自分にとってはこの辞典づくりが全てなんだ。 ・どんなに時間がかかっても仕上げるぞ。 ・みんなが待っている。 ・一緒にがんばっている仲間もいるじゃないか。 ・ついにやり遂げたぞ。 ・あきらめなくてよかった。 ・私のこだわりが使う人たちに届いてほしい。 ・これでみんなが正しく英語を学べるはずだ。 ・盛助の思いが今もみんなに伝わっている。 ・盛助はみんなに夢を与えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛助のこだわりや気持ちの強さに気付かせる。 ・いかにこだわった作業だったかということを実感させるために <ul style="list-style-type: none"> ①実際に修正を繰り返した原稿を提示する。 ②7年間という長い期間に注目させる。 ・気の遠くなるような作業を7年間という長い時間取り組めたのはどうしてか話し合い考えを深める。 ・普通なら挫けそうになったり、あきらめたりするような作業をひたすらに続けることができた盛助の信念の強さを感じさせる。 ・最後までやり遂げたからこそ感じる喜びや達成感に共感させる。 ☆信念をもってやり遂げた思いに共感したり感動したりすることができたか。 <p>【発言・観察】</p> 	<p>インターネットの言葉</p>

	見つめる	6 自分たちの生活を振り返る。 ・今日の授業で、盛助さんの生き方から何を学びましたか。	・自分の決めたことを最後までやり抜くことは大切だ。 ・自分も夢や目標をもって、それに向かって努力していこう。	・「盛助はすごい」という感想で終わらないように、自己の生活を結び付けて考えさせる。 ☆これからの自分の生活の中で盛助のように自分の目標をもち粘り強く努力していこうという気持ちを持ちが持てたか。	5
終末	あたためる	7 校長先生の話聞く。 ・この辞典を使って、目標に向かって努力した人にお話ししていただきましょう。	・自分も頑張っていこう。	・校長先生の使っていた岩波英和辞典を見せ、一体誰のものなのか興味をもたせる。 ・校長先生も夢や目標に向かって努力してきた話を聞かせ、これからの生活への意欲を高める。	3 校長先生岩波英和辞典

6 評価の観点<省略>

7. 板書計画



提示資料 一 直筆の原稿 (宮代町郷土資料館 提供)

